

三瀧寺：自然と周辺環境

三瀧寺は、その歴史的な建物、神社、平和関連の記念碑だけでなく、自然を楽しむ散歩やお花見、静かな黙想の場としても人気があります。三瀧とは“3 つの瀧”を意味し、寺は、その敷地内にある 3 つの心癒される小滝から名付けられています。曲がりくねった本道の近くを流れる、また時によっては本道の上を流れる 4 つの沢から、これらの滝に水が送り込まれています。敷地の斜面は木々に覆われ、外界の騒音を消し去っています。流れる水の音と苔むした岩や石像が作る景色が、三瀧寺を心休まる場所にしています。

入り口から続く本道は、最後に寺の敷地の一番高い場所まで届いていて、そこには丘の斜面に掘り抜かれた往古の石の祭壇のある平地になっています。彫刻の前には、御神木とされている高い木が聳え、その横には明治時代（1868 年–1912 年）に建てられた木造の神社の建物があります。そこから道はさらに山の上に向かって続き、徒歩 10 分ほどでハイカー達に人気のある静かな竹林に出ます。

一味違った広島景色を見なければ、入り口の上に怖い顔の彫刻がある木造の神社を探してください。この神社は三匹の鬼（日本のお伽話に出てくる“ogre”のような生き物）を祀ったものです。鬼が祀られているのは、三瀧寺と宮島、そしてその側にある山寺だけです。神社の傍に古い石畳みの小径があり、3 分ほど歩くと見晴台があり、広島景色が一望できます。

最高の紅葉を楽しむには、秋に木の葉が寺の塔と同じくらい紅く色づく頃に、三瀧寺を訪れてください。春、寺の周辺に桜の花の咲く頃もまた、来訪者に人気の時期です。